

島根県美郷町

トレーニングファームを核とした
新たな担い手の育成・定着

令和8年9月

美郷町産業振興課

島根県 "美郷町" ってどんなところ…？

みさとと。

- 島根県の中央に位置し、中国地方で最も雄大な河川「江の川（ごうのかわ）」が町を貫流
- 古くは石見銀山街道の一部として栄え、江の川の恵みとともに発展を続けてきた

美郷町の基本データ

- ◆ 人口：3,884人（※2026年8月末現在）
- ◆ 面積：282.92km
- ◆ 買物：スーパー 3店舗、コンビニ 1店舗
- ◆ 教育：保育所 2か所、小学校 2校、中学校 2校
- ◆ 病院：診療所 2か所、歯科 1か所
- ◆ アクセス
 - ・東京から 飛行機と車で約2時間半
 - ・大阪から 飛行機と車で約2時間

美郷町はこんなまち

- 🌲 自然アクティビティ「カヌー、サイクリング」
- 🎭 文化・伝統「バリ島マス村との交流、神楽」
- 🏠 新しい取り組み「サステナブルハウス」

美郷町は「自然豊かで健康的」「歴史と伝統を大切にする」まちである一方、サステナブルハウスなど、環境に配慮した先進的な取り組みにも挑戦する、「未来志向のまち」。



- 地域農業としては水稻を中心にキャベツや菌床シイタケなどの栽培が盛んに行われている
- 高齢化・人口減少による後継者不足、耕作放棄地の増加などの農業の存続に関わる危機に直面

美郷町の農業を取り巻く課題

担い手不足の深刻化

- ・ 町内の基幹的農業従事者数が過去10年間で56%減少
- ・ 従事者数の90%以上が70～80歳代であり高齢化が進む

土地利用型農業の限界

- ・ 町の面積の約9割が森林で平地が少なく大規模化が困難
- ・ 農地が小区画で分散しており効率化を妨げている



町が整備したリースハウス

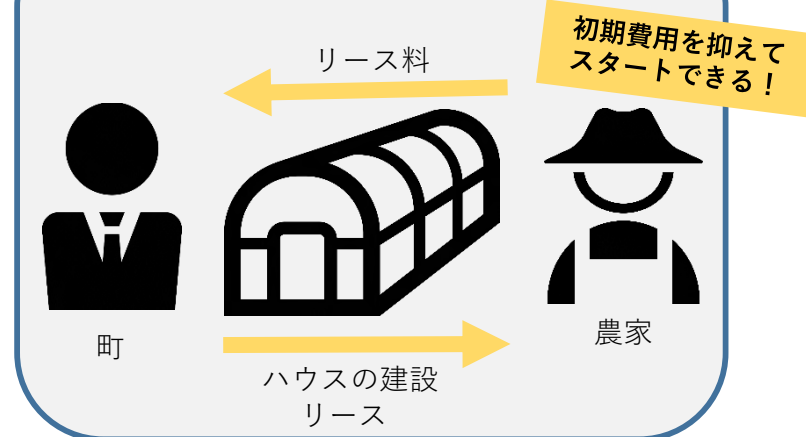
ミニトマト栽培の推進

そこで、約10年前に土地利用型農業よりも高収益かつ消費者需要も安定している「施設園芸でのミニトマト栽培」に着目。

栽培の推進にあたって、農業者の初期投資の軽減を目的に、町がハウスの建設や機械設備を整備し、農業者へ貸し出す「リースハウス制度」をスタート。

これまでに38棟のリースハウスを建設、5つの経営体が入植。

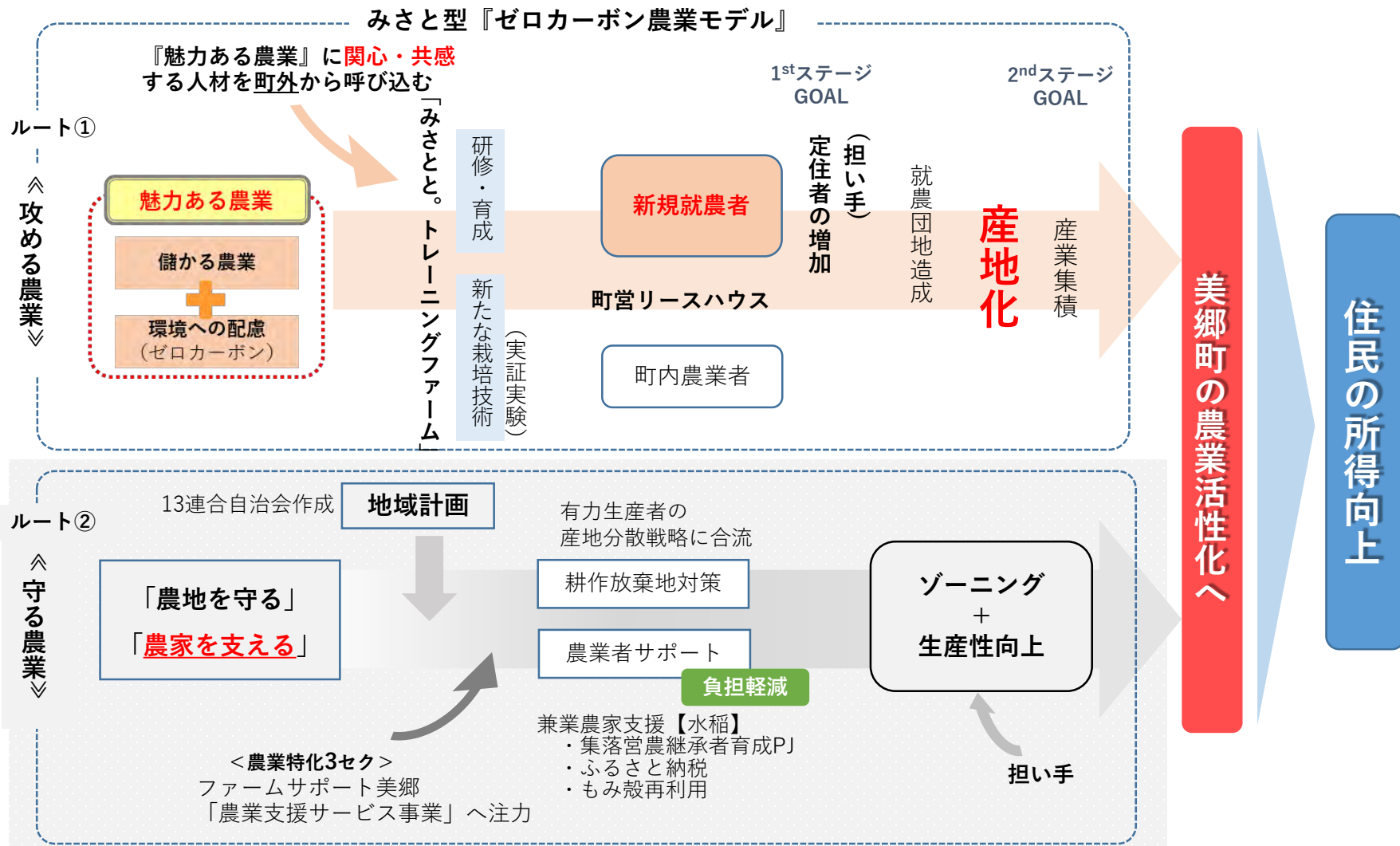
リースハウスの仕組み



「みさと農業再生プラン」について

みさとと。

- 町の農業を取り巻く課題に対して、2つのルートを中心とした再生プランを策定
- トレーニングファームは「攻める農業」の核として、移住による就農者増と産地化を目指す拠点



みさと農業再生プラン

住民の所得向上

美郷町の農業活性化へ

ゼロカーボン農業研修施設「みさと。トレーニングファーム」

みさと。
とと。

- 2025年4月に新規就農者向け栽培設備付き農業研修施設「みさと。トレーニングファーム」を開所
- 「島根県就農準備資金等研修機関」に認定された県内で2例目の施設（地方自治体としては初）
- 営農型太陽光発電設備やヒートポンプを設置し、『魅力ある農業』の実践の場となっている

【栽培研修ハウス】

用途：実践的なミニトマト栽培実習
設備：養液栽培システムヒートポンプ



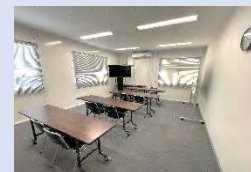
【営農型太陽光発電設備】

用途：研修施設全体の電力を賄う
設備：パネル、パワコン、蓄電池



【研修棟】

用途：座学や休憩スペース
設備：研修室、休憩室、シャワー室、男女別トイレ



【選果場】

用途：作物の選別、箱詰め、出荷調製
設備：選果機、バック詰め機（予定）



【育苗研修ハウス】

用途：実践的な育苗実習
設備：育苗機
※今年度ハウス内設備完成予定

【試験栽培ハウス】

用途：試験品種の栽培
設備：養液栽培システム、ヒートポンプ
※今年度ハウス内設備完成予定

【EV車両】

用途：研修生活動車両
設備：HONDA N-VANe
※今年度からカーシェアサービス開始予定



2025年4月にOPENした研修施設

【機械室】

用途：養液システムの操作、肥料の保管
設備：養液栽培システム



- お給料をもらいながら、“稼げるミニトマト農家”になるためのトレーニングファームでの農業研修
- 研修終了後は町が整備する「町営リースハウス」で自営就農

研修制度の概要

- ◆ 対象者：地域おこし協力隊制度利用可能な方(居住地要件)
美郷町での就農および定住を希望される18歳以上の方
- ◆ 研修期間：原則2年間
- ◆ 研修内容：ミニトマトの栽培・生産向上技術、経営ノウハウ
- ◆ 採用人数：毎年4～6名を想定（※夫婦やペアを推奨）
- ◆ 採用実績：第1期生3名 第2期生3名 現在6名が研修中

研修制度のポイント！



“稼げる”農家に育てる 万全の研修

- ◆ ミニトマト専門指導員による指導
- ◆ トレーニングファームでの実習の他、実績のある農家での研修や農林大学校での座学を受講
- ◆ 新規就農者が取り組みやすい「島根型養液栽培システム」を採用
- ◆ 研修棟に座学専用の研修室や休憩室、シャワー室、男女別トイレを完備



給与・家賃補助で お金の心配なく学べる

- ◆ 月額給与 205,520円 の他、期末・勤
奨手当の支給
- ◆ 住居の家賃は町が負担
(一部の物件で自己負担アリ)
- ◆ 通勤手当の支給(支給条件アリ)



暮らしのスタートも 町が全力サポート！

- ◆ 転入や結婚、出産、就職などのライフイベントに合わせて「定住ポイント」を付与
- ◆ 保育料の無料
- ◆ 空き家バンクから空き家情報の提供

就農希望者（研修生）の確保・募集について

みさとと。

- 第1期・第2期の募集を通じて**計6名（家族含む9名）**を採用しており、本プロジェクトは着実に進行
- 一方で本制度自体の全国的な認知度は低く、自発的な問い合わせ件数は少数に留まっている
- 第3期ではより**効果的な広報戦略**を展開することで、質・量ともに継続性のある応募者数確保を図る

募集媒体・手法



デジタル広報

特設サイトの開設や研修生による「note」を活用した情報発信の他、**リスティング広告**による「潜在層」へのリーチを図る



相談会出展

全国規模の「就農相談会」や「移住フェア」へ積極的に参加。特に、**先輩研修生による講演登壇**により、「魅力」の訴求を図る



ピンポイントPR

属性を絞った上で、出身者会への縁故・Uターン訴求や、退職自衛官へのセカンドキャリアの提案を行い、人材確保を図る

町特設サイト



研修生インタビュー記事



これまでの募集実績

■第1期生 応募者5人 採用者3人

応募者情報 採用①兵庫県（20代）理学療法士
採用②埼玉県（20代・夫）農大卒
採用③埼玉県（20代・妻）農大卒

■第2期生 応募者6人 採用者3人

応募者情報 採用①青森県（40代・夫）介護福祉士
採用②青森県（30代・妻）保育士、介護福祉士
採用③兵庫県（20代）看護師

募集チラシ



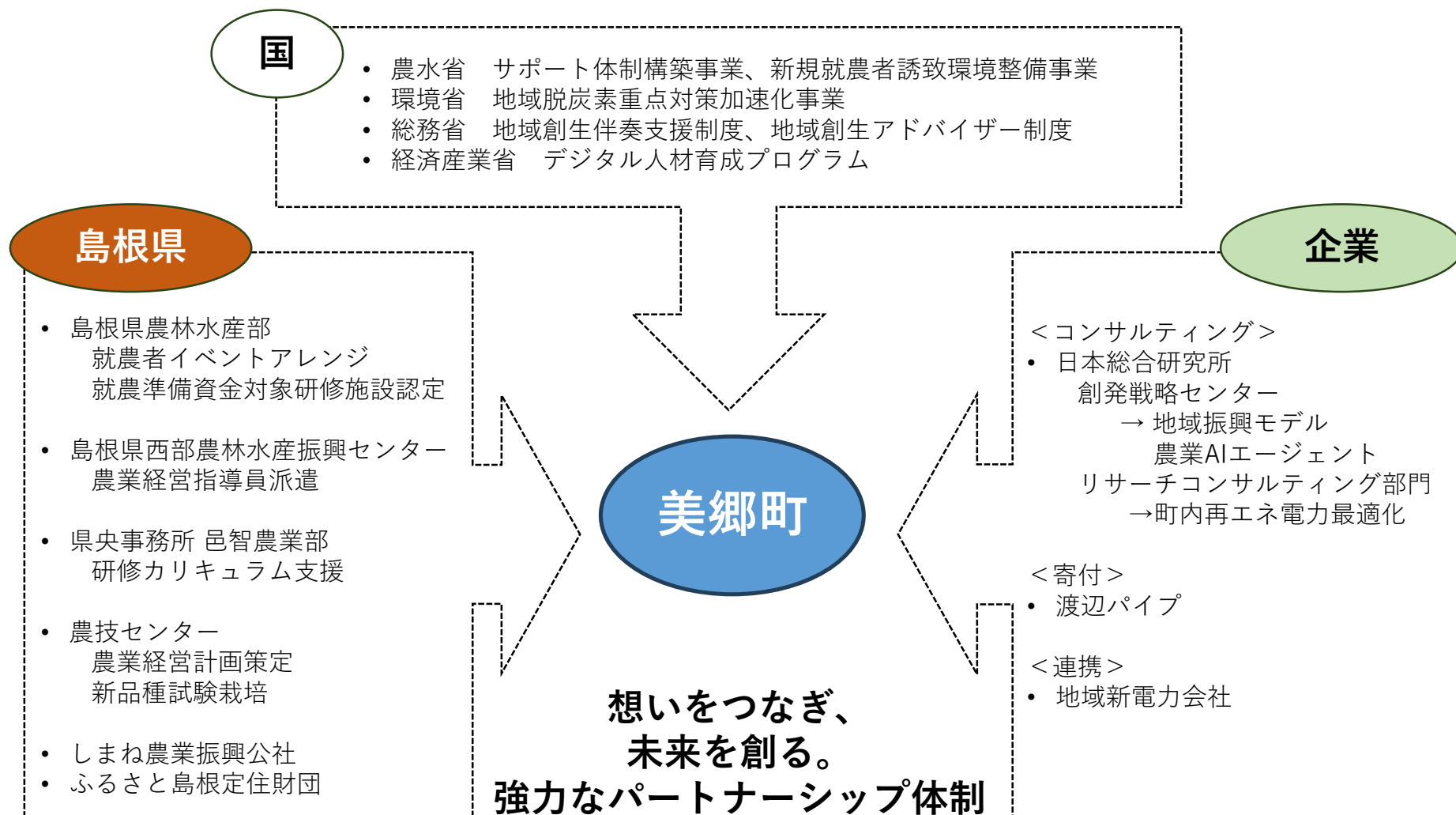
【ご参考】ミニトマト就農研修制度への導線

み
さ
と
と。



【ご参考】基礎自治体としての独自の取組・工夫

- “**研修制度**”を行政の**施政方針**に組み込むことで、**高い熱量（コミットメント）**とスピード感を実現
- 取組が**伝播（共感）**することで、**国・県・企業**からの強力な**パートナーシップ体制**を構築



ファミリー向け移住住宅

家族で移住できる新築戸建ての賃貸住宅をご用意。
太陽光パネルと電気自動車用電源を標準装備しており、
広々とした敷地で家庭菜園を楽しむことも可能。
美郷町では「環境にやさしい」「自然と共生した」
「持続可能な」暮らしを実現することができます。



定住ポイント制度

転入・結婚・誕生・就職などのライフイベントに応じて、「定住ポイント」を進呈。（1ポイント＝1円）
ポイントは、町内の飲食店やガソリンスタンド、産直市で活用していただけます。

(例) 転入：10万pt 就職(町内)：20万pt
結婚：5万pt 就職(町外)：10万pt
誕生：30万pt



子育て支援・環境



充実の子育て支援メニュー＋子どもの成長支援

- ・放課後児童クラブ・保育料・中学生公営塾・小児科オンライン相談などが**無料**
- ・子どもたちの可能性を最大限広げるため、大学等に進学する際に**返還不要の応援金を支給**（美郷町子ども未来応援金）
- ・子どもの国際感覚を養い、視野を広げるため、中学3年生を対象とした**バリ島マス村への訪問**
- ・漢検や英検などの資格に合格した子どもに、地域通貨「みさとと。Pay」を付与（みさとと。ステップアップ）

みさと住実暮らし制度



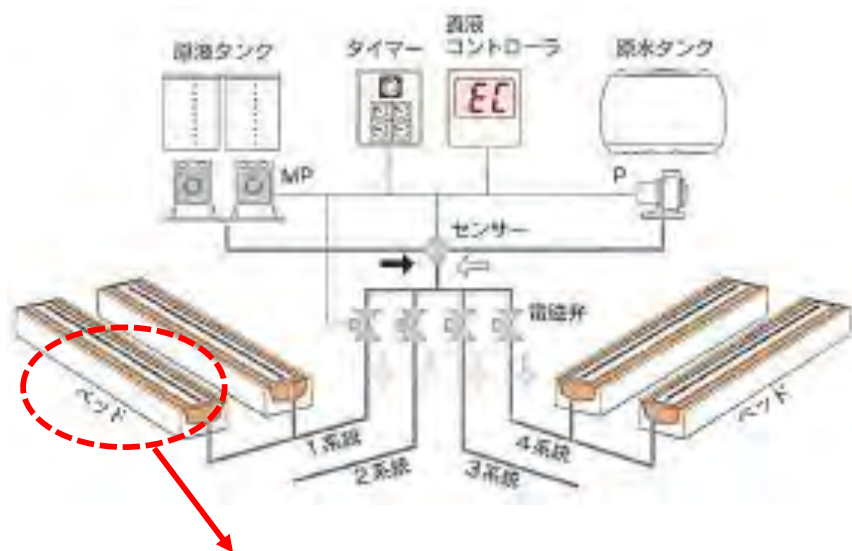
新築住宅を建設する場合と、住宅を改修する場合に、補助金を活用していただけます。

新築の場合：最大**100万pt**（加算要件有※）＋空き家解体（最大**200万pt**）＋土地購入（最大**50万pt**）（1ポイント＝1円）
改修の場合：最大**50万円**

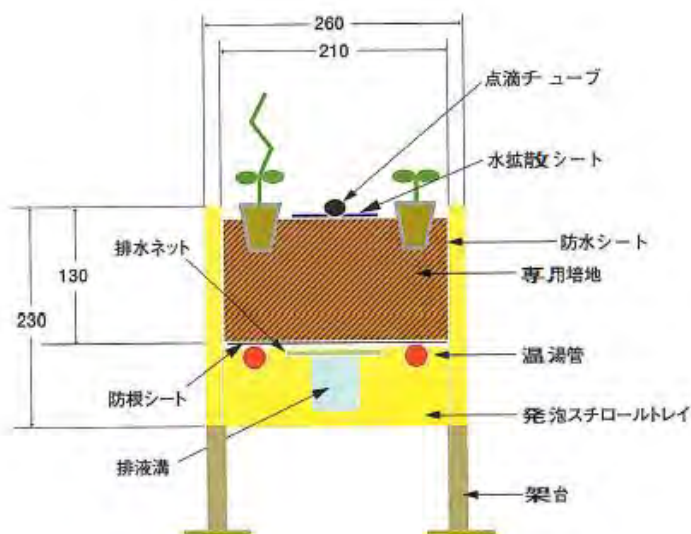
※子ども1人につき第3子まで20万pt、第4子30万ptで以降50万pt
転入20万ptなど



《システム全体図》



《栽培ベッド断面図》



島根型養液栽培は、**環境負荷が低く**、リサイクル可能な有機質培地（ヤシガラチップ主体）に対し、生育に応じて適量のかん水・肥料を点滴により施用する果菜類の栽培方式です。培養液管理は日射比例での給液時間・濃度・量の設定が可能で、自動化により、労力分散しながら適正な規模の作付けができます。

同システムを導入することによるメリットは、高齢者や新規就農者でも容易に**高品質生産が可能**なこと、きつい作業や経験を要するかん水管理等の省力化や作業環境が改善されること、土壌病虫害を回避して生産が安定することなどがあげられます。



定植前の様子



定植後の様子

《POINT》

- ✓ 施肥・畝立ての作業から解放
- ✓ 生育がよく揃い、生育後期まで適正な草勢を維持
- ✓ かん水・施肥管理が自動化
- ✓ 広い通路で快適な環境での栽培管理・作業
- ✓ 隔離ベッド栽培によって、土壌病害を回避

Thank you !

インターネットから
より詳しい内容がご覧いただけます！

就農研修制度 特設HP
農業研修生生活動記録「note」



農業研修生
インタビュー記事

